

Style of First Lady

バラク・オバマ米国大統領夫人、ミシェルさん訪日記念

輝く女性の代表! ファーストレディの現在

一国を代表する男性の隣で輝くファーストレディは、プリンセスと並び世界から注目される存在。3月に訪日したミシェル・オバマさんも大きな話題となりました。現役から歴史に名を残す女性まで、記憶に残しておきたいファーストレディたちを特集します。

Realization : MIHO KASHIWABARA

ファーストレディ ミシェル・オバマ夫人 日本の3日間

2009年1月、夫のアメリカ合衆国大統領就任以来、初の訪日を果たしたファーストレディ、ミシェル・オバマさん。3日間の滞在で見せた彼女の魅力を、大学の講義でミシェルさんのファッションを取り上げてもあるエッセイストの中野香織さんと共に振り返ります。

3/18

鮮やかなドレスで 日本到着

3月18日夕方、専用機で羽田に着いたミシェルさん。中野さんの第一印象は、「最初の一着に日本のケンゾー、しかも彼女がこころ一番に選ぶイエローのドレスを選んでくれたことに、サービス精神を感じます」。

Michelle
 Obama

ミシェル・オバマ●1964年イリノイ州生まれ。プリンストン大学、ハーバード法科大学院を卒業後弁護士に。シカゴ市長のスタッフ、シカゴ大学病院副院長などを経る。バラク・オバマとは'92年に結婚。2人の娘、マリアとサーシャをもうける。



羽田空港に到着したミシェルさんの装い。ドレスはケンゾー、2014-15年秋冬コレクション。足もとはジミー チュウのパンプス“AZA”。“AZA”を採用するミシェルさんは、19日も素材違いのものを着用!



3/19 メイン・イベント、 女子学生たちとの交流

午前中は女子教育の拡充を呼びかける行事に安倍首相夫人、昭恵さんと共に出席。「ミシェルさんと昭恵さんは情熱を注ぐ分野やバランス感覚が似ていて話も合ったのでは」と中野さん。午後は皇居、首相官邸へ。

1天皇・皇后両陛下にお茶に招かれて皇居・御所へ。40分ほど歓談。2この日のおもてなしの主役は昭恵さん。ご自分が経営する神田の居酒屋UZUでランチを共にしてファーストレディ外交。互いに関心を寄せる食や女子教育について話も弾んだ模様。3、4飯倉公館で行われたイベントでは女子教育の拡充を訴えて講演、日本の女子学生と交流しました。5夕方、安倍首相を訪ね首相官邸へ。



3/20 京都で日本文化を たっぷり満喫して

キャロライン・ケネディ駐日大使らと清水寺で能を鑑賞。さらに伏見稲荷大社で和太鼓の演奏を聴き、「ご自分で太鼓を叩かれたときはノリノリですが。あれは好感度が高かったと思います」と中野さん。

6伏見稲荷大社で、大阪府立芥川高校の和太鼓部が披露した演奏に聞き入ったミシェルさん。生徒に声をかけるばかりでなく自らも演奏に参加しました。7ケネディ駐日大使(右から2番目)の右隣の若きイケメンは、大使の息子、来日中のジョン・シュロスパーク君。8あつという間の3日間を終え次の訪問国カンボジアへ。



中野香織

なかの・かおり ● 過去2000年分のファッション史から最新モード事情まで、幅広い視野から研究、執筆、レクチャーを行う。東京大学大学院修了。英国ケンブリッジ大学客員研究員を経て、2008年より明治大学 国際日本学部 特任教授を務めている。

例えばヒラリー・クリントン氏がファーストレディの時代は、女性が男性と互角にという空気がありましたが、今は女性は仕事をもちべきだが良き家庭人でもあるべき、という時代。ミシェルさんは時代の空気をよく読み、夫の政策を邪魔しない、女子教育や食育の分野で本領を發揮。ママ・イン・チーフと宣言し、母であることを最優先していること、ことにアピール。子どもを含め仲の良い家族像の見せ方もうまく、高学歴でありながら広い階層に支持されています。

ファッションでは、ジャクリン・ケネディのスタイルを踏襲して古き良きアメリカを連想させると同時に、最新N.Y.モード、特に移民のデザイナーや安価な量産品も戦略的に選び、視覚的にも全方向に配慮が行き届いています。ミシェルさんは、21世紀のファーストレディとして完璧なバランス感覚をもつ存在だと思っています。

エッセイスト 服飾史家 中野香織さんが語る
ミシェル・オバマの「ファーストレディカ」

初来日の3日間、終始親近感に満ちた笑顔で行動したミシェル・オバマさん。政治的なメッセージは発信せず、自身が情熱を注ぐ女子教育と食のことに徹しており、とても賢かったと思います。

そもそもアメリカのファーストレディは、「ホワイトハウスのホステス」という第一の役割を超えて、「社会の鑑」的位置づけになっています。王室に匹敵する品格が求められながら、目立ちすぎるのはNG。夫の政策を熟知していなければならぬものの口出しすると叩かれるなど、あらゆる面で、しかもその時代に合ったバランスが求められる非常に難しい役割です。